



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2018年10月会報 第360号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Moon Sang-Bong(韓国)
主 題: Yes, we can change 「私達は変えられる」
スローガン 'Courage to challenger'

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之
主 題: 'Action' 「アクション」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)
主 題: 「未来に残すべきものを守り育てる」
Let's Protect and Culivate What Should Be Pssed on to the Future.
副 題: 「めぐり逢う一筋の光」
Seek Your Encounter with a Ray of Light

六甲部部长 大田厚三郎 (神戸西)
「六甲部は、一つの体。ともに助け合い、部全体の発展向上をはかろう。」

宝塚クラブ会長 青柳美知子
主 題: 「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！」

今月のテーマ: BF (ブラザーブッド資金) EF (エンダウメントファンド 信託基金)

聖 句 天地万物は完成された。

第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。
(創世紀 2:1~3)

2018年10月例会

日 時 : 2018年10月10日(水)18:30
場 所 : 宝塚ホテル オーシェルの間
会 費 : 会員3,100円 会員以外3,500円
ドライバー 武田寿子 吉田 明
開会点鐘 青柳会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 福家清美
祈 禱 若林成幸
ゲスト・ビジター紹介 青柳会長

晩 餐

お 話

沼野 尚美さん
「心にふれる人との関わり」
宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン
&カウンセラー

誕生日のお祝い

YMCA ニュース

閉会点鐘

青柳会長

誕生日
おめでとう！

井上みえ(23 日)
辻 建 (1日)

9
月
実
績

例会出席者数 35 名
在籍会員数 25 名
出席会員数 17名
出 席 率 70.8%
メイクアップ(内数) 0 名
メネット 0 名
コメント・孫メット 0名、
ゲスト・ビジター 17 名
例会充足率 140. 0%

BFポイント 9月 5,676 円
累 計 10,576 円
にこにこBOX 9月 6,000 円
累 計 13,000 円
ファンド(物品販売) 円
累 計 15,550 円

【今月の聖句随想】

辻 建

神は 6 日間にわたり天と地そこに住む動物、植物をお造りになります。しかし第七日だけは違います。この日、神は働くことをいっさいやめて、ふところ手をされて「仕事から離れ」ます。造る神から見る神へ、自分の造り出したものを、それ自体として見つめる。そこにあるものをあるがままに見つめる。どんなに小さなものも、卑猥に見えるものもそれなりの価値を持っていることを見つめる。これが神の安息の意味です。働き続けること、なにか実績をあげることだけがクラブの価値ではありません。手を休めてじっと現実を見つめること、安息日を忘れていないかが問われています。

会長のことば

9 月は私にとってとてもエキサイティングな月になった。ちょっと地に足が付き始めたばかりの会長職なのに、宝塚クラブに 3 人もの新入会員を迎えられた。クラブにはなくてはならない元会員でレジェンドのカムバック、魅力あふれる仲間だった元メネット、希望の星のような好青年。お三人共クラブにきっと新しい風を送り込んで下さる事まちがいなし！なんだか幸せの風が吹いてきた気持ちだ。ワイズ運動の中でも、我が人生においても大切なものはもちろん「人」だと思う。豊かな良き交わりが出来ますように。この一月で六甲部を含めて4つの部会に参加した。そして新しい出会いや、沢山の学びも経験できた。本や映画の中での人との出会いもいいが、こうしてワイズの中でリアルな人と接し、優しさを育み、感動を得る事は年寄りの私にも本当に大切と思う。部会参加でいつもどこでもある爽やかなワイズのムードと年長の方の中にも理想と情熱、そして皆さんのの中に青春を見つけた 9 月だった。

青柳美知子

9 月第1例会報告

9 月第一例会は9日(水)18 時 30 分から宝塚ホテル・ゴールドの間に於いて、34 名参加により、ドライバー多胡葉子ワイズの司会で青柳美知子会長の開会点鐘で始まり

ました。今月はゲストのお話の前に大田厚三郎六甲部部長の正式部長訪問と福田素子さん、(石田由美子ワイズがスポンサー)、風早寿郎さん(福田宏子さんがスポンサー)の大田六甲部部長の司式、小野勲紘 EMC 事業主任、柏原佳子六甲部 EMC 事業主査との立会の元、入会式が行われました。

そして晚餐の後、皆が楽しみにしていた平林克敏氏のお話が始まった。「エベレスト登頂から50年」～タイムカプセルの思い出～と題して綺麗なスライドを通してお話が始まった。エベレストと言えば有名で良く知って居ますが、100 名単位ポーターの協力なしでは物資が運べないし、色々な危険を乗り越え、何か所もキャンプを通り、最後に天候、降りて来る時間を計算して、沢山の協力支援が有っても頂上に立つのは数名で有るお話でした。沢山の美しい風景に感動しました。



長尾 亘

9 月第2例会報告

9 月 19 日(水)18:30 から宝塚西公民館にて 9 月第 2 例会を行った。出席者は、青柳会長、小林、武田、石田、鯖尻、福田宏子、今田、多胡、加藤、堀江、長尾、吉田、谷川、若林各メン、計 14 名。議事要旨は次の通り。

1. 10～12 月の例会運営について

10 月例会のゲストは、宝塚市立病院緩和ケア病棟チャップレンの沼野尚美氏を迎え「心にふれる人との関わり」を聞く。会場はゴールドの間から新館9F オーシェルの間に変更。

11 月例会は久々に会員相互理解のひとつととする。3 月に入会の 4 名から、各 10 分程度の自己紹介を中心に話題を提供してもらう。

12 月は 12/14 の市民クリスマスに配慮して、12 月 19 日(水)にクリスマス例会を行う。ゴスペル・ミュージシャン山本真一郎氏を招き「第 1 部:ゴスペルの集い、第 2 部:食事と懇親」を軸に、プログラム内容・謝礼・会場・参加費などの詳細を詰める。

2. 会計からの報告と提案

①吉田メンから寄付と支出案件が報告され、それぞれを承認した。

9 月例会スピーカー平林克敏氏から寄付 10,000 円がありファンド会計へ繰入。ラオスワークキャンプ支援金 25,000 円を支出済み。全国 YMCA リーダー研修会支援金 20,000 円、チャリ・ラン支援金 50,000 円を支出予定。

②7 月に入会された辻 建メン(広義会員、山口県周防大島在住・85 才)から年会費に関する特例運営の申し出があった。宝塚クラブ会則・細則第 4 条②但し書き。『40 才未満の会員については、本人の申し出により役員会が承認した場合は、半額とすることができる』をもとに協議。強い使命感をもってワイズや難民の支援を継続されていることに感謝し、申し出を了承した。

3. 六甲部部則検討委員会の報告

青柳会長から、8 月下旬に行われた六甲部・瀬戸山陰部の合同に関わる部則改正問題の途中報告があった。部則第 9 条(評議会)の会議の成立要件(構成員の 1/3 の出席)の見直しや、第 11 条(雑則)①六甲部長輪番制の見直しを中心に議論されたとのこと。12 月 22 日(予定?)の臨時評議会で議決予定。

4. ジャガイモ販売について

今年も十勝クラブ扱いのジャガイモを 10/20 から販売する。農林 31 号男爵品種改良型(中身は黄色くて煮崩れしにくく、なめらかな食感。煮物・炒め物・シチューに最適)、10Kg 2,200 円。300 箱。

10/20(土)9 時、大林邸ガレージに入荷。

昨年は 400 箱を販売したが今回は 100 箱減としているので、「昨年度の個人販売実績表」を参考に各人の販売先を事前登録することになった。9 月末までに。配送分担は後日検討する。

5. チャリティーランについて

準備委員会が 10/1, 10/15 に YMCA で開催。10/1 武田メンが出席の予定。

6. 市民クリスマスについて

12 月 14 日(金)開催。後援申請・合唱団募集案内を済ませ、9/21 から 10 回の合唱練習が始まる。

7. 各部会への参加について

9 月 22 日(土)六甲部、9 月 29 日(土)西中国部、10 月 6 日(土)中部、10 月 7 日(日)瀬戸山陰部、11 月 4 日(日)びわこ部 それぞれの部会へ分担して出席とブリテンへの寄稿協力を確認した。

8. ブリテン 10 月号について

長尾メンの編集方針に沿って寄稿分担・締め切り日等を確認した。

9. 留学生生活用品の提供について

神戸 YMCA 留学生の生活用品提供の依頼があり、青柳会長が中心になって収集する。

若林成幸

第 3 回選択と集中委員会 報告・提言

「選択と集中」委員会は、クラブの高齢化が進む中でクラブの特別事業「バザー・ジャガイモ販売・市民クリスマス」を見直し、今後のクラブ運営の方向付けを考える場として設けられ、7～9 月に毎月 1 回、計 3 回の会合を行った。

第 1 回 7 月 25 日、現状確認として会員の年齢構成・活動の実際・会計構造を概観し、課題を共有した。

第 2 回 8 月 22 日、若林メンが作った改善案をもとに意見交換を行い、又、ジャガイモ予約・運搬について話しあった。

第 3 回 9 月 26 日、若林案に応える形で辻先生から届いた手紙が披露され、双方の見解をもとに 3 事業がもたらした有形・無形の成果を共有しつつ今後の方策を話し合った。

その内容を「提言」として 10 月第 2 例会に報告し、今後の取扱い方法を協議するとした。

提 言：

1. 市民クリスマスは、仁川教会茂牧師の主導と地域教会の協働によるクリスマスの特別集会であったが、これの休止に伴い 14 年前にワイズが継承し、多くのボランティア出演者を得て、市民対象のクリスマス音楽会として充実したプログラムを展開して来た。しかし、企画のマンネリ化・世話係の老化・運営資金難が予想されるなどから、2019 年 12 月開催予定の第 15 回をもって終わりとする。
もし、これを継承する組織・団体が出た場合は運営移管も考慮する。
2. バザーは、ファンづくりと地域サービス行事として定着し、特に「お楽しみ券」は多くの協力を集めたが、2019 年 5 月開催分を最終として中止する。その後は、宝塚国際交流協会 (TIFA) が行っている「TIFA 祭り？」に協力し、地域サービスに徹する。お祭りへの出店可否について TIFA

の意向を聞き必要な準備を行う。

3. ジャガイモ販売は、ファンド事業として長年続けられたが買い手の小口化傾向、配送作業に腰痛不安があるなど、適当な対応方法も見当たらないことから、2019 年度秋を持って終了する。
4. 上記 3 事業の改廃によりクラブ財政も大きく変化するものと思われ、財政の点検が必要である。
また、2020 年度は宝塚ホテルの旧館取り壊し・新築開店に当たり、クラブ例会会場の選択も課題となる。

書記 若林成幸

ゲストプロフィール

沼野尚美：プロフィール

大阪市生まれ。武庫川女子大学薬学部卒業。

神戸ルーテル神学校修士課程修了。米国ゴンザガ大学宗教学部宣教コース修了。ケンシントン大学大学院で心理学・カウンセリングを専攻。

チャプレンとして淀川キリスト教病院、神戸海星病院、姫路聖マリア病院などの勤務を経て現在宝塚市立病院緩和ケア病棟チャプレン&カウンセラー



部会・他クラブ訪問

九州部部会報告

2018 年 9 月 1 日(土)、ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイで第37回九州部部会に参加しました。生憎、伊丹を出る時から雨模様。飛行機は定刻に出ましたが熊本空港上空雷発生のため30分近く雲の中をホールディングしてようやく着陸。メネットアワーは全員参加の形で14時から始まり「共に生きる」と題して社会福祉法人慈愛園理事長の潮谷義子氏の講演がありました。

部会は上村眞智子部長の点鐘に続き16クラブがバナーと共に勢揃い、圧巻でした。その後、九州部で17番目のクラブとして熊本五福ワイズメンズクラブのチャーターナイトがあり、30名の新しいクラブが誕生。市立熊本五福幼稚園が YMCA に移管されたのをきっかけにそれを支援するワイズメンズクラブが誕生しました。九州部のパワー全開です。

懇親会では久しぶりにワイズ劇団特別公演があり、今が旬の大河ドラマ「西郷どん」に200余名の



会場は笑いの渦でした。岩国みなみクラブの高瀬稔彦ワイズの桂小五郎が「獺祭」を持って現れたり、これ以上の配役はないと思う鹿児島クラブの中堀清哲ワイズの西郷どんが薩長同盟結成の一幕を演じて大いに盛り上がりました。

そして私にとってはワンダフルサプライズがフェローシップアワーで起こりました！

何と私のためにバースデーケーキが！たくさんのワイズの祝福を頂き思い出多い日になりました。

上村部長、前田香代子ワイズに感謝です。

石田由美子

京都部部会報告

9 月 9 日(日)、雨の降りしきる中、京都部部会の行われる宝ヶ池の深い緑に囲まれたプリンスホテルに向かった。時間に余裕があったせいか、辺りの美しさに目をうばわれたり、メネット会も部会もゆったりとした気持ちで楽しめた。

ドレープで飾られたメネット会にふさわしい佇まいのホールで、沢山のメンと共に、京都いのちの電話のご苦労話とテーブル席まで来て演奏して下さった園城三花さんのソロフルートを楽しめた。3時からの京都部会の参加者は475人で、区大会並み、六甲部から10人の参加だった。印象に残ったのは川上京都部部長の話。「各クラブの地道な活動と共に私達は世界のワイズメンズと繋がり、色々な活動に加わっている喜びと



誇りを持って世界平和の為に尽くしたい」でした。マザーテレサの言葉で「それがどんなに小さくても、すべての愛の行いは平和の為の仕事です」を思い出しました。その為「ワイズメンはもっと英語を勉強しよう」という川上部長の思いか、その後のFM京都や各方面で活躍の佐藤弘樹さんのワンポイントイングリッシュで「英語を上達したい人は日本人をやめなさい」の話はとても面白くて頭のリフレッシュになった。

青柳美知子

阪和部部会報告

9 月 17 日(日)12 時から第 30 回阪和部会が大阪上本町台地にある「たかつガーデン」で行われ、宝塚から青柳会長と若林の 2 名が出席、総勢は



125 名が和やかに午餐と親睦を楽しみました。横田憲子阪和部長の挨拶に続き 6 クラブの会長によるバナーセレモニー、続いて主査たちによる抱負表明と森田恵三メンによる「ワイズ将来構想検討委員会の今」が報告されました。お弁当を食べた後、大阪チャチャチャバンドの元気で楽しい演奏が披露されました。このバンドは、伊藤寿佳子氏が主宰し、知的障がいを持った仲間とミュージシャンが出合い楽しい表現活動をする 15 名のビッグバンド。1999 年、長野アートパラリンピックでのパフォーマンスが初舞台。その後、活動の巾が広がり、年間 20 ステージをこなす。『うまい下手は関係ない！絶妙のコンビネーションで何があってもノープロブレム。さあ、みんなで一緒に楽しみましょう！』のコンセプト通り、フィナーレ曲「ハッピーウイルスマーチ」にワイズ達も引き込まれてダンスに参加し、楽しいひとときを過ごしました。

若林成幸

中西部部会報告

9 月 16 日(日)、大阪難波のホテルモントレーグラスミア大阪で行なわれた、中西部会に出向いた。大阪中が見渡されるような 21 階のホールは 123 名の出席者のテーブルでぎっしり。

入ってすぐ目に入ったのはテーブルに置かれたビーズで作られた可愛いピンクのバラの花のネームホルダーだった。聞くとメネットさん達の手作りだった。どれだけ大変な作業だったでしょう！その暖かいおもてなしと、メンと共にすばらしいワイズワー

ルドを作っておられるメネットさん達にいちどに心をうばわれた。第一部の中で各会長のスピーチも良かったが、ビーズのバラさんのせいか終始アットホームを感じた部会だった。

青柳美知子

六甲部部会報告

2018 年 9 月 22 日(土)神戸 YMCA チャペルで第 17 回六甲部部会が大田厚三郎部長の開会点鐘で始まりました。恒例となりますバナーセレモニー、部長挨拶、来賓紹介、挨拶、そして今回の基調講演は常盤大学客員教授の柳敏晴氏の「Y's Men' Club と YMCA 〜ウエルネスから再考〜」と



題して YMCA のスタッフの経験を生かした話を聴きました。続いてワイズビジョン構想特別委員会委員長森田恵三ワイズのワイズビジョンを目指す会員増強、新生ワイズ起こしの運動の熱い思いのお話が有りました。

第二部は場所を近くのホテルに移し、和琴演奏を聞いて、心を新たに次期西日本区理事戸所岩雄ワイズの乾杯で始まりました。東は西日本区から西は九州と約 175 名の参加が有りその中に宝塚クラブと DBC の鹿児島クラブから会長の松永英明ワイズが来られ、楽しい親睦の時間を持つ事が出来ました。



長尾 亘

メネット会に出席

9 月 22 日 (土) 午前 11 時から六甲部会に先立ちメネットアワーが神戸 YM CA 三宮会館で開催された。宝塚クラブから青柳会長、今田、福田 (宏)、多胡の 4 人が出席。参加者は 60 人。今期のメネット主査は西宮クラブの石井恭子ワイズ。司会をさんだクラブの松本美耶子ワイズ。昨年度から西日本区メネット事業として取り組んでいる子どもの貧困に関連した課題でその活動を覚えて六甲部メネットアワーでは阪神間で活動をされている 3 団体の代表からこども食堂の現状をお話ししていただいた。

子ども食堂の活動はまだ日が浅い。それぞれ活動を始めて 2~3 年目のこと。一年毎に参加者は増える一方、資金



面などで苦労されているとのこと。宝塚で近い場所で活動をされている「にしのみやこども食堂」。代表として関西学院大 2 回生の杉谷佳奈さんの活動が特に印象的だった。このグループは大学生が活動母体。阪神淡路大震災以後に小・中・高生たちへの学業支援として立ち上げ活動をして来たブレンヒューマニティという組織。学業支援のみでなく 2015 年から「にしのみやこども食堂」として週一回食事支援もするようになったとのこと。

3 団体ともにそれぞれの地域のなかで「子供達がキラリと輝く社会」を目指し、良き働きをされていることを知ることができた。

さて、ワイズとして今後どのように取り組み、関わっていけるのかは課題として与えられたが、金銭的な支援だけではなく、ワイズの人との繋がり豊かなさを情報として提供することができるのではとの意見が出たことに共感を覚えた。豊かな学びの時のメネットアワーであった。

(ファンドとしてのラベンダーアロマの販売)

六甲部会が始まる会場の入り口で宝塚クラブが用意したラベンダーの香りのアロマオイルの販売をした。

このアロマオイルはフランスの農園で無農薬で栽培された純粋のラベンダーから抽出されたオイル。1 本 1,000 円で 20 本販売。経費を除いて 15,000 円の収益があり、宝塚クラブのファンドとして会計に。感謝。

多胡葉子

IBC/DBC コーナー

鹿児島クラブ DBC 交流会報告

2018 年 9 月 1 日 (土)、熊本で開催された九州部会に鹿児島クラブから 6 名のメンバーが参加されました。6 月の西日本区神戸大会でのブラザークラブ締結式以来の再会で、その時にお会い出来なかったメンバーの方々にもご挨拶が出来ました。



鹿児島は大河ドラマで今、旬の街です。既にクラブには西郷どんがメンバーとして在籍！ワイズドラマでも大活躍でした。(九州部会報告に詳細掲載) 会長の松永英明ワイズは出張で時々、大阪へ来られるとの事で、近いうちに宝塚クラブ例会に出席したいとのお話です。その前に 9 月 22 日の六甲部部

会に参加表明され大田厚三郎部長にお引き合わせしました。部会での DBC 交流が楽しみです。

石田由美子

YMCA だより



地震、大雨に台風。自然災害が気になる今年。心配がつきないところですが、秋は行事、イベントがたくさんです。「みつかる。つながる。よくなっていく。」が体現できる活動が盛りたくさんです。よくご存じの方も、最近ワイズにかかわった方もぜひ YMCA の行事にご参加していただき、少しでも新たな仲間に関わってください。

お待ちしております。

今後の予定)

1. 西宮YMCAバザー「Yわいカーニバル」

西宮YMCAで恒例のバザー、お祭りを行います。すでに西宮ワイズの方々からはラッキー抽選券販売のセールスをされた方も多いでしょうが、ぜひ大いに盛り上げていただければと思います。ぜひ顔を出していただければ幸いです。

日程:10月21日(日)10時30分～14時30分

場所:西宮YMCA

参加申込不要、現在寄贈品募集中です!!

2. 第21回神戸YMCAチャリティーラン

ワイズの皆様の恒例にもなったチャリティーランも今年で21回目。神戸しあわせの村に小学生から大人たちが走って汗かき、喜び繋がりあう秋の時間を過ごします。

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、集まった支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように!」との願いから、1983年に東京で始められました。

ぜひ今年もランナーとして、またボランティアとして大会をお支えいただきますようよろしくお願いいたします。

日程:11月3日(土・祝)9:30～15:30

場所:神戸しあわせの村

詳細は <https://www.kobeymca.org/c-run/>

3. 教育セミナー

中高生にかかわられている教育関係者を対象にカウンセラーの立場から、具体的事例も交え、子どもの接し方について考える機会を持ちます

日程:①10月7日(日)13:00～15:00

②11月11日(日)13:00～15:00

場所:神戸YMCA高等学院(神戸学園都市)

内容:日常生活。学校生活におけるこどものかかわり方～こどもの社会性を育てる～

①「コミュニケーションの苦手は克服できる!」講師:大対香奈子氏(近畿大学准教授)

②「集団や社会への適応に向けた家庭でのかかわり方のヒント」講師:藤田昌也氏(みどりトータルヘルス研究所)

両回とも参加費無料、定員20名

申し込み・詳細は

<https://www.kobeymca.org/data/pdf/20181007.pdf>

4. YMCAセミナー2018

日本では、制度の間で困難な状況に置かれる人々がいることを覚えます。今回のYMCAセミナーでは、これまでに制度を越えたYMCAの働きを実践されてきた方々をパネリストとして迎え、これからの社会で必要とされるYMCAの歩みについて考えます。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にご参加ください。

日程:11月10日(土)15:00～17:00

場所:神戸YMCA三宮会館チャペル

内容:制度の間の社会課題とYMCAの働き
 ～ポジティブネットのある豊かな社会を目指して～
 田口努氏(横浜YMCA総主事)・太田直宏氏(せ
 とうちYMCA総主事)・小澤昌甲氏(神戸YMCA
 職員)による鼎談
 申込・参加費不要

5. 神戸YMCA学院専門学校 生活備品のお願い

神戸YMCA日本語学科は秋より新たに40名の
 留学生を迎えましたが、神戸の生活を少しでも快
 適に始められるように留学生に生活備品を配布し
 ています。ご自宅に眠っている新品の食器やタオ
 ル、洗剤、ハンガーなどがございましたら寄贈くだ
 さいますようご協力お願いします。

受付:10月4日まで

問い合わせ先:神戸YMCA学院専門学校日本語
 学科(078-241-7204 担当橋本)まで

6. 西宮 YMCA ファミリープログラム

保育園や学童保育、野外活動や発達障害支援、
 西宮地域のYMCAの活動にかかわっているファミ
 リーが一堂に会し、リーダーなどボランティアと
 もに一日を過ごし、「みつかる。つながる。よくなっ
 ていく。」を体験するプログラムです。

今年の秋は、11月23日に六甲山YMCAで野
 外活動体験を行います。詳細は後日お伝えしま
 すが、関心のある方、ぜひご予約ください。

2018/19

役 員	会 長 青柳美知子 副会長 福田宏子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 国際交流主査 武田壽子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子 EMC 杉谷和代 交 流・ファンド 石田由美子 広 報(ブリテン)(HP) 長尾 亘
特別事 業委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 小林康男 バザー 長尾 亘 市民クリスマス 若林成幸